

## スマート・リサイクルのご提案

Go Smart-Recycle  
Save Earth

手間をかけずスマートにリサイクル！

**BRING** プロジェクトのご提案

**BRING /** 使用済みの服やプラスチックを地球の福に！  
生まれ変わった衣類は、石油由来の衣類と全く変わらない品質



衣料品の50～60%は石油由来でつくられたポリエステル原料から生産されています。  
わたしたちは使用済みのポリエステルが含まれる衣料品を原料にして服を作ることができます。

## 石油資源使用削減を実現する新しいポリエステルリサイクル技術 日本環境設計の北九州響灘工場

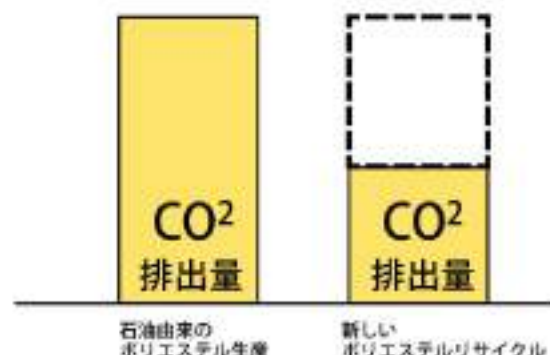
北九州響灘工場は、古い服をまったく新しい服に生まれ変わらせる工場です。生まれ変わった服は石油由来でつくった服と全く変わらない品質。わたしたちのリサイクルは一度や二度どころではありません。何回だって、リサイクルを続けることができます。これってとてもハッピーなことだと思いませんか？



※2017年6月竣工予定



●パイロットスケールプラントの建設運営プロジェクト  
●国・県・市・民の協賛と支援  
●総工費：15億円  
●処理能力：1,200トン/年(処理物：ペットボトル・プラスチック製容器・ポリエステル製繊維製品)  
●生産能力：2,000トン/年(生産物：ポリエステル繊維)  
●所在地：北九州響灘臨海工業団地(北九州エコタウン)  
●NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)より48億円の補助金を獲得



石油由来の  
ポリエステル生産と比べて  
CO<sub>2</sub> を **約55%** 削減

我々のポリエステル樹脂は、原料が不要となった衣料品であるため大幅にCO<sub>2</sub>の排出削減することができます。  
※古着を3万トン処理した場合の理論値です。

持続可能性に配慮した調達の世界基準に！

## Point 1

### 東京オリンピック・パラリンピック調達基準

どのように供給されるかを重視する  
どこから採り、何を使って作られているのかを重視する  
サプライチェーンへの働きかけを重視する  
資源の有効活用を重視する

例：リサイクルでできるわくわく・ドキドキ企画  
**みんなで2020年をつくろう**



## Point 2

### 国連気候変動枠組み条約締約国会議COP21

日本の約束草案CO<sub>2</sub> 26%減(2030年までに2013年度対比)の水準に

国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議の略称。  
2011年のCOP17で、20年以降の新たな温暖化対策の国際枠組みをCOP21で採択することを決めた。先進国だけに対策を義務づけてきた京都議定書に代わり、途上国を含むすべての国が参加する枠組みをめざす。

## Point 3

### ISO20400(調達の国際基準) ※17年度に発行予定

(持続可能性に配慮した調達に関する手引き)  
調達という機能において、どのように環境面・社会側面の配慮を行うべきかを定めている

持続可能な調達(Sustainable procurement)に関する規格です。  
現在国際標準化機構(ISO)で開発が進んでおり、2016年1月現在(DIS)の段階です。  
順調に進めば2017年に国際規格として発行される見込みです。

# BRING

## 今までにない画期的なリサイクルシステムが誕生!



衣料品の回収リサイクル事業。衣料品を消費者や企業から回収し、エタノールや自動車内装材を製造・販売し、また、ブランドマークライセンスも実施しています。

### 回収参加企業 FUKU-FUKU プロジェクト



### PLA-PLUS プロジェクト



■セブン&アイグループ各社が参加している日本環境設計が運営するリサイクルスキームに、私たちの企業もユニフォームのリサイクルで参加することができます。

### 仕事服の回収方法

1

弊社製品を  
ご購入ください。

2

お手持ちの使わなくなった  
仕事服をお渡してください

対象製品 お手持ちの使わなくなった全てのメーカー製品が対象  
ご 注 意 特殊廃棄物(医療廃棄物や放射性廃棄物など)は除きます  
そのほかの条件は担当までお問い合わせください

3

BRING の  
技術でリサイクル

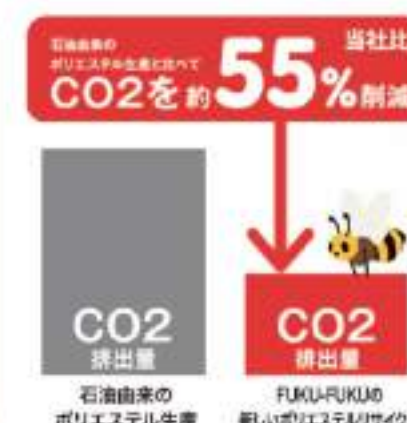
石油由来と比べて  
CO2を55%削減!

※3万トンのプラントが稼働した場合の想定値です

回収された仕事服は、BRING の技術で再生ポリエステルと熱エネルギーにリサイクルされます。

### 柔軟に対応します

購入先やメーカーがバラバラでも一括回収ができます!  
発送時の箱はどんな箱でもOK!  
発送時の運送便は《佐川急便》でお願いいたします。  
※集荷については営業担当までお問合せ下さい。  
配送料のご負担はありません!



## Point 1

### 東京オリンピック・パラリンピック調達基準

- どのように供給されるかを重視する
- どこから採り、何を使って作られているのかを重視する
- サプライチェーンへの働きかけを重視する
- 資源の有効活用を重視する



## Point 2

### 国連気候変動枠組み条約締約国会議COP21

日本の約束草案CO2 26%減(2030年までに2013年度対比)  
の水準に

国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議の略称。  
2011年のCOP17で、20年以降の新たな温暖化対策の国際枠組み  
をCOP21で採択することを決めた。先進国だけに対策を義務づけてき  
た京都議定書に代わり、途上国を含むすべての国が参加する枠組みをめざす。

## Point 3

### ISO20400(調達の国際基準) ※17年度に発行予定

(持続可能性に配慮した調達に関する手引き)

調達という機能において、どのように環境面・社会側面の  
配慮を行うべきかを定めている

持続可能な調達(Sustainable procurement)に関する規格です。  
現在国際標準化機構(ISO)で開発が進んでおり、2016年1月現在(DIS)  
の段階です。  
順調に進めば2017年に国際規格として発行される見込みです。



# BRING

を利用し、企業の社会的責任(CSR)を果たすだけでなく、  
**共通価値の創造:CSV(戦略的CSR)**として活用しましょう!



## ◆ ポリエステルリサイクルを実施する意義 ◆

# 未来の子供たちにこの素晴らしい地球の環境を残すためにはどうすればよいのか

## ★ SDGsは2015年9月国連で採択されました ★

持続可能な社会をつくることを目指し、世界が抱える問題を17の目標に整理されました。

貧困問題・気候変動・生物多様性・エネルギーなど、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むビジョンや課題が網羅されています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## ★ BRING と SDGs の関連 ★

|                                 |                                                          |                                 |                                                                  |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| <b>12</b> つくる責任<br>つかう責任<br>    | ポリエステルの再資源化は企業にとっての責任であり、製品を購入したお客様にとって使い終わった後の責任        | <b>13</b> 気候変動に具体的な対策を<br>      | 新たに再資源化された製品は地下資源を使用しないことから、CO2削減に貢献できる<br>これは温暖化防止の具体的なアクションとなる |
| <b>16</b> 平和と公正をすべての人に<br>      | 地下資源の争奪戦が戦争の引き金になっていると考えれば、地下資源を使用しないことで世界平和に貢献できる       | <b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに<br> | エネルギーの有効利用という面でも効果がある                                            |
| <b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう<br>    | ポリエステルの質の高い再資源化の技術、廃ポリ回収インフラは循環物流の革新となる可能性があります          | <b>4</b> 質の高い教育をみんなに<br>        | 『もったいない』という気持ちの醸成や、町をきれいにするという気持ちの醸成は、教科書には表すことができない質の高い社会教育です   |
| <b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう<br> | この取り組みはまさに、環境省、民間企業が中心になって動き、横の連携を保ち、消費者（国民）を巻きこんでゆく活動です |                                 |                                                                  |

